

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200172
事業所名	グループホーム稲武の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域のビーバースカウトが来館して、歌や紙芝居を行い利用者から好評であった。地域の小学生の職場体験を受け入れ、車イスの介助や利用者との関わりを体験してもらっている。事業所が開催する心肺蘇生の講習には、消防署職員との協力の下、地域の人も参加するなどして交流に努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回開催している。会議の中での家族会の参加者が増えており、事業所では手狭になり、今後の会場選びや内容などについて、話し合い検討している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市役所担当課に事業所の更新手続き等を出向しており、その時に事業所の現状などを報告して相談や助言を貰っている。地域包括支援センター主催の「ささえあいネットワーク」で認知症の事例検討を行った時には職員がアドバイザーとして出席し、助言をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	日頃から家族と連絡を密に取っており、家族と連携しながら利用者が楽しく暮らしていけるように話し合い支援に努めている。職員の異動も少なく家族と顔馴染みであり、要望を言ってもらえる良好な関係である。また、3か月ごとに利用者の日頃の様子がわかる手紙を家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				